

変わっていく ことを楽しむ。

人口減少時代の大きな課題である必要な「人財」の確保と育成を前に進めて行きたい。

代表理事 平賀 貴幸

誰もが地域で
あたりまえに
暮らせるために

スタッフ募集中

詳しくは、電話もしくは
メールにてお問い合わせ下さい

特定非営利活動法人
とむての森

新年度がスタートしました。

新たな課題や状況の変化に対応するための打ち合わせや、活動の強化に繋がる取り組みを新たに始めさせていただいております。

スタッフのレベルアップを図るための研修チーム設置や、経営計画の導入とみなさまへの周知(今後改めてお知らせを致します)などに取り組むほか、基本的なあいさつや接遇改善。そして支援の仕組みも少しずつですが制度と利用者さんの実態とに合わせたものにシフトして行きたいと考えています。

そのためにも、移動支援及び行動援護のスタッフ増員とニーズに応えられる体制の構築は急務の課題でありますので、放課後等デイサービスのスタッフ確保と合わせて取り組みを強化してまいります。

また、放課後等デイサービスについては運用の適正化をはかりながら、お子さんの状態に合わせた利用ができるようにスタッフの理解促進と合わせて必要な見直しを図って参ります。

その上で、北見市に対しても「行動援護」実施事業所増に向けた働きかけを主体性と責任を持って進めることを申し入れながら、様々な角度から「事実上、行動障がい強い方に対応できる行動援護のサービス提供はとむての森しか北見市内では難しい」という状態を変えて行きたいと考えています。

成人期についてはさまざまな形で芽が出てきた芸術部門のオールブリュット作品のさらなる振興と商品化などを進め、より多くの方が工賃としての収入を得られるように挑戦します。

さらにペーカリーカフェローフでは、新たなパンの販売形態導入を模索するとともに、法人全体

で取り組みを強化しながら広報宣伝活動の充実に努め、ここでも工賃UPを図って行きたいと考えます。

他にも今年度は各推進室を中心に新たな事業の検討を進めて行きたいと考えていますので、私たちの挑戦への応援をいただければ幸いです。

私たちは、北見市及び周辺地域の全体像を見つめながら課題を解決することで法人や会員、利用者さんや保護者の皆さんだけではなく「地域全体が最適化され、誰もがより暮らしやすくなること」を念頭に活動を進めることで、とむての森がさらに活発に活動を進め、知名度や信頼感を高めながら、結果として人口減少時代の大きな課題である必要な「人財」の確保と育成を前に進めて行きたいと考えています。

今後ともとむての森のチャレンジにどうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

TRY&GO

新しいことに挑戦すると、新しい発見や出会いがある。
変わることを楽しみながら、ともに成長していきます。

｜ PICK UP REPORT ｜



みんなで「おもてなし」。子供たちがお迎えの挨拶と配膳を初体験。
道内外のNPO関係者12名がとむでの森を視察にいらっしやいました。

文/ 弓山祐子

4月6日の北海道新聞でも取り上げていただきましたが、『人と組織と地球のための国際研究所』川北代表他ご一行様が、当法人運営の共生型施設を視察に来てくださいました。

代表の川北様は、ベーカリーカフェローフ特製ビーフシチューのファンだとあらゆるところで公言くださっている大事なお客様！！はるばる大阪、愛知、横浜、東京方面から来てくださったみなさまを「お・も・て・な・し」しようと、

とむでの森では初めてのことに挑戦。子供たちがお迎えの挨拶と配膳を初体験。ベーカリーカフェローフのスタッフが5日は別施設でのケータリングを、6日は店舗で開催した懇親会のための料理のご提供…これも全て初体験。慣れないことばかりでみんなが大緊張。終了後はみんなグツリでしたが、本当にとても良い体験をさせていただきました。やれば出来ると自信をつけさせていただきました。そして、子供たち

のちょっと誇らしげな笑顔に癒されるスタッフでした。

今回視察にみえた皆さんは、子育て支援、重度障がい児・者支援、まちづくり支援、デザイナー等々、精力的な活動をされている方たちばかり・・・お話を聞いているだけで、そのパワフルさに圧倒されてしまったのです。普段から、私たちはけっこう頑張っているよね～なんて言っていたことが恥ずかしくて凹んでしまうくらい衝撃を受けてしまったのです(泣)今度は私たちがお邪魔させていただこう！みんなで勉強に行こう！旅費を作ろう！と、決意も新たにした懇親会の夜でした。



「もてなす」気持ちを、
一皿一皿に表現しました。
CATERING & PARTY



2日目、ローフで行われた懇親会。

食事も予定通りに出し終える頃には、ワインも進み、楽しい歓談の時間を過ごして頂けたのではないのでしょうか。キッチン内では、デザートを出し終えて無事に終わりを迎える事が出来てホッといたしました。次のご依頼にもご満足頂けるよう励みたいと思っています。



Catering & Party menu

ローフでの貸切パーティーやホームパーティー、ランチミーティングでのケータリングなど、ご要望に応じて、お食事の特別注文を承っております。お気軽に当店スタッフにご相談下さい。



数字、計算や得意なことを活かして正確に計量したり、
手際良く作業することが身につけてきました。



就労支援事業所すてっぷ

文/ 荒谷晴日・中村陽子

光眩い季節になってきました、皆様如何お過ごしでしょうか？ローフでは最近、お客様のご依頼で数回の会食を行いました。現スタッフになってから初のことでしたが、精一杯務めさせていただきました。お客様にも喜んで頂けたのではと思っております。また新メニューとしては、5月から手作りトマトソースのポロネーゼをお出ししておりますので、是非一度ご賞味くださいませ。

さて支援の方では、昨年4月に2名の新メンバーを迎えてスタートしました。はじめは挨拶や返事をするのもぎこちなかったのですが、最近では、敬語を交えて会話ができるようになってきました。

作業の面では1年経った今では、とても完成度の高いお菓子を焼くことが出来る様になりましたし、また数字や計算が得意なことを活かして正確に計量したり、手際良く作業することが身につけてきました。今年度もさらにワンステップアップを目指し、楽しく作業出来る様に工夫して支援していきたいと思っています。



SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
* *	* *	* *	* *	1 ウォーキング	2 マナーについて 勉強しよう	3 お休み
4 お休み	5 ウォーキング (ゴミ拾い)	6 SST 友達のいいところ 見つけよう	7 親子丼	8 計りの練習 衣類のたたみ方	9 グループワーク練習	10 お休み
11 お休み	12 稲荷寿司	13 おつかい練習 おつかいのメモと金額、 電卓の準備をお願いします。	14 ゴミ拾い	15 SST 友達のを壊して しまったら....	16 そうめん	17 お休み
18 お休み	19 グループワーク練習	20 裁縫	21 SST 短所も いいところに！	22 SST きちんと あやまらおう	23 ゴミ拾い	24 お休み
25 お休み	26 裁縫	27 ウォーキング	28 計りの練習 手あらい練習	29 ツナときゅうりの 和え物	30 SST いやな気持ちを 切り替えよう	* *



放課後デイサービス事業所 ほっくる 文/ 青山尚美

元気いっぱい挨拶！
子供たち初の接客デビュー。



暖かい日が続き、やっと春らしくなってきましたね(*~*)

さて、先日オレンジスタジオの二階にお客様がいらっしゃいました！遠路はるばる北見に来て、とむてを見学してくれるとの事で、「子供たちにもおもてなしをしてもらおう！接客の良い勉強になるし、ね！」と事務局長にお願い？強制？(笑)され、ほっくるの子供達初の接客デビューをし



てきました。子どもたちはやる気満々(*~*)
まずは、エプロン、三角巾をつけて、お客さんが来る前にロールプレイ・・・「いらっしゃいませ」「失礼します」「お水いかがでしょうか？」から始まり、スプーンやフォーク、お皿の置く配置を勉強した後、いよいよ実践です！まずは、元気いっ

ぱい挨拶！・・・いい感じです(*~*)お料理を運び、お水のお代わりもだし、お皿を下げる時には「失礼します」・・・素晴らしい！！

みんな良く頑張りました！終わった後は、子供たちもスタッフもぐったり・・・(+o+)でもとても良い勉強になりました。緊張して、挨拶が出来なかった子も最後の挨拶はちゃんとできていました！はじめはお水が上手に入れられず、水滴が落ちてしまったりしていましたが、後半は上手に入れる事ができました！接客はまだまだ練習が必要ですが、練習を積み重ねて、自分たちでお料理を作って、保護者さんをお招きし練習の成果を見てもらいたいと思っています(*~*)



移動支援事業所 とろっこ

「もう少しだから頑張っ！」と
励ましあいながら。 文/ 山川圭一

みなさんこんにちは。清々しい五月晴れが快い季節となりましたが、みなさんはお変わりなくお過ごしでしょうか。

新年度を迎え早一月が経ち、学校や職場に慣れ始めた方も、まだまだ変化に慣れない方もいらっしゃると思いますが、日々の時間を大切にお過ごしくださいね。



さて今回の移動支援では、雪がとけ暖かくなったので屋外活動の様子をご報告をいたします。普段はトレセンで活動している成人のメンバーですが、昨日は外をウォーキングしています。

ルートは本部から昭和通りを進みコンビニで休憩、青葉通りを下り国道を越え、小町泉通りを通って本部へ戻っています。交差点では一度立ち止まり安全確認の為、しっかり左右を確認してもらい、1時間半ほどかけ約6.3kmを歩いています。最初はみんな笑顔でスタッフさんとお話ししながら元気よく歩いていましたが、徐々に疲れ始めたのか、口数が減り黙々と歩いていました。「もう少しだから頑張っ！」と励ましながら無事本部に到着しています。

支援に関しまして日時・時間などの変更がありましたら、早めにご連絡をいただけますようお願い申し上げます。



生活支援事業所 ほっぷ

まだまだ沢山の素敵な出会いが
待っているはず。 文/ 近井修

今月は少し真面目な話を……。私たちの法人は「障がいのある利用者さんは、決して福祉サービスを受けるだけの小さな存在では無く、地域の担い手として、その役割を果たす大きな存在である」との考え方から、「地域での社会活動」を積極的に推奨しています。生活支援事業所【ほっぷ】も、その考え方に基づき「地域での社会活動」を

支援の柱の一つとして、町内活動やボランティア活動を行っています。その際、私たちは「笑顔で挨拶をする」という決まりを設け、活動中に出会う皆さんへ、こちらから声を掛ける取り組みをしています。地域の皆さんと挨拶を交わしながら活動をする事で、最近は地域の皆さんから少しずつ言葉を掛けてもらえる場面が増えてきました。こちらから元気よく挨拶を続ける事で、地域の中には、まだまだ沢山の素敵な出会いが待っているはず。私たちの活動は、大きな湖に落とした小さな一滴の水のようなものかもしれませんが、それがその一滴の水が水面にゆっく

りと波紋を広げるように、地域の中で交流の輪が広がっていくことを信じています。

「利用者さんと、地域の方たちが
手を取り合って共に生きる」



そんな優しさと思いやりのあるインクルーシブ共生社会を目指す為には、地域で暮らす私たち一人ひとりが小さな活動を始める事が大切です。諦めないでください。きっと小さな活動にこそ、その実現に向けた大きな可能性が宿っているはずだから・・・



「北海道アール・ブリュット展」終了 クロスホテル札幌 MACHINAKA ART-X_edition Vol.23

文/ 伊藤栄一

2017年1月14日より開催されていた展示販売会も3月31日で終了し、4月3日に撤収をしました。展示開始1ヶ月頃にプレーメンに連絡が入り、出品者の蛭子陽太氏の絵の売買取成が成立しました。

撤収時に企画者のClarkGallery+SHIFTの方と最終的な契約を交わし、無事売買取成です。今回売買取成された蛭子陽太氏の作品は、クロスホテル史上初の高額購入となったそうです。購入者は、札幌在住の女性で飼っている猫に似ていて、一目惚れで購入に至ったとのことでした。

また、4月3日は撤収と同時に、翌日から始まる林田嶺一氏の搬入を一部お手伝いしました。御年83歳とは思えぬ創作力で、新たに新作も多数加わり、見応えのある展示となっています。林田氏は4月より青森県立美術館での合同展示も開催されます。彼の作品の多くは同美術館に収蔵され保護されており、存命の作家で、70点以上の作品が収蔵されるのは、とても凄いことです。2つの会場での展示が終わると殆どの作品が青森県と滋賀県の美術館に収蔵されてしまうそうです。今後、北海道で見るのが難しくなるので、ぜひ、この機会にクロスホテルへ足を運んで頂ければと思います。

ART CREATION PROGRAM

●studio BREMENとmorph tokyoの連携企画

所属アーティストの絵画、東京ライブハウスの月刊誌と年間契約。

芸術活動の最大の壁は「収入」。そこを打開するために昨年は、年賀状やポストカードなどの商品化を進めてきました。また、外部からもタイミング良く原画仕様のお話を頂いたり、studio BREMENは皆様のご支援、ご協力のもと奇跡を連発しています。その奇跡のお陰もあり、東京でライブハウスを経営するmorph tokyo様が毎月発行するフリーペーパーの表紙にプレーメン

の作品が使用されることになりました。毎月1アーティストの作品が表紙になり、きちんと作家名のクレジットも入っています。もちろん、使用料はアーティストに支払われる流れです。

ここで誤解されないように記しますが、先述した「収入」とは「事業利益」ではありません。アーティストが自分の好きなことで収入を得て、それで生活できる。若しくは、生活の一部を賄える。



morph tokyo4月号
studio BREMEN専属契約
アーティストの弓山諒氏の
絵画が表紙を飾る。

創作することが生き甲斐になり、それを続けて行くための「収入」です。仕事としての作業ができなくても、何か人より秀でたもので「楽しく」、「笑顔」で生きていけるモデルを作ることがstudio BREMENの挑戦です。

私たちがいう収入とは「事業利益」ではなくて、彼らが創作することを生き甲斐とし、続けて行くために必要な「収入」のこと。



●studio BREMEN の新たな取組

当法人が提供する福祉サービス「非利用者の作家/作品」の保護を始める。

2016年の展示企画を期にstudioプレーメンを経由して、全道の展示会に出品された女性作家がいます。

2017年の札幌大通美術館での展示を終了し、会場担当者より売買取成の問い合わせが多いとのこと、急遽(本当は2018年から開始予定企画)、マネージメント契約を交わしました。

4月に作品が収蔵され、現在、作品内容の記録を作成中です。また、作品を見て欲しいとの要望が多くなり、その中からも今後契約に発展しそうな方もいます。



●専属契約アーティスト
創作活動を含む総合支援を行うアーティスト数:16名
作品の保護/展示に限定するアーティスト数:2名(内、調整中1名)

TRY & GO

「楽しく」、「笑顔」で
生きていくことができる
モデルケースを作ることが
私たちのミッション。



おそらく誰もが耳にしたことがあるであろうテレビゲームの「ドラゴンクエスト」シリーズご多分にもれず僕もそのプレイヤーの一人であります。(10以外のナンバリングタイトルはプレイ、クリア済です)中でも「V」が個人的にお気に入りの作品で、シリーズで最も多くプレイ、クリアしているのではないかと思います。そのゲームの中のイベントで、弱冠6才の主人公と8才の幼馴染の女の子が村の子どもたちにいじめられているネコを助ける為にお化けが巣食うといわれているお城に潜入し、お化け退治を行うというものが有ります。(お化け退治がネコの譲渡と交換条件の為)見事お化けを退治して約束通りネコを譲り受け、幼馴染の女の子が「ネコに名前をつけよう」と提案「ポロンゴ」「チロル」「ブックル」「ゲレグレ」の中から選べと主人公にせまります。(リメイク版ではもう少し選択肢があったり自分で任意の名前をつけたりできます。ここではオリジナル版の話になります)

因みにネコといわれるくらいなのでとても可愛らしい姿をしています。実際は『地獄の殺し屋』の異名をもつ「キラパンサー」というモンスターで、そのモンスターの幼少期である「ベビーパンサー」がネコの正体であったのです。モンスターといえどもかわいらしいという理由と、しっかりとくるといふ理由で僕は迷わず「ブックル」と名付けました。(ちなみにリメイク版も含め20回くらいはプレイしてるとは思いますが、一度として他の名前を付けたことはありません)

一連載
菅波大輔の言いたいことを言フコラム VOL.02



当時小学生でしたがやはりドラクエというコンテンツは凄まじい人気を誇り、発売後しばらくの間は毎日のように学校で話題になっていました。当然ながらこの「ベビーパンサー」の名前も話題に挙がり皆どの名前を付けたかを確認め、その結果やはり「ブックル」が圧倒的であったと記憶しています。その中で『ゲレグレ』はないよなというのが主流派で実際「ゲレグレ」派は少数派だと思えます。僕自身も「ゲレグレ」と名付ける奴なんてそうはいないだろうと思ってましたし、もしつけてた人がいればそいつは異端児という印象を持つほどでした。その後年齢を重ね、色々なところでこの話題があがる事がありました。やはり「ブックル」が多く、「ゲレグレ」は少数派でした。そんな折2016年の年末、NHKで放送されたドラクエの番組に伴いツイッターで【ベビーパンサーの名前】アンケートというものが行われ、なんとその結果が総数737票

1位	ゲレグレ	28%
2位	ポロンゴ	26%
2位	チロル	26%(同率)
4位	ブックル	20%というものでした。

まさか「ゲレグレ」がこれほどまで支持されていたとは…。上記の番組に出演していた俳優の山田孝之さんも「ゲレグレ」だけはない」と番組内で話していたのに…。漫画家のさくらももこ先生も「『ブックル』という名前だからこそ感動できるシーンがあった。『ゲレグレ』ではそうならない」と

●今月のテーマ 「そのイメージは果たして実態に則したもののなか？」

っていたぐらいなのに…この結果に衝撃を受け、その後ネットで名前に関する検索を試みましたが他のサイトでも「ゲレグレ」がトップという結果が判明し、衝撃の上乗せをしただけでした。(某巨大動画サイトでは「ブックル」が多数派との結果だったそうですが、その他はどこも似たような結果でした。どれも共通していたのは結果にそれほど大きな差は生じていないというものでした)

というように「自分や周りがかう思っているのだからそうに違いない」と考えても、実際は全然違う場合もあるという事例を述べてみました。イメージや主観で物事を決めつけずにデータなど客観性のある要素を抽出して問題や課題を定式化する事で、別の気付きが始点となってより多角的な視点で物事を捉えたり判断が出来るようになるのではないのでしょうか？そうする事で一つの答えや価値観に縛られず、思考の幅を広げたり引き出しを増やせたりしてもっと楽しい事や良い事、すなわちより良い結果に繋げられるのではないのかなあと思えます。余談ですが僕はリメイク版を含め一度としてピアンカ以外の嫁を選んだことがあります。



絵:DAISUKE SUGANAMI

太陽いっぱいあびて、オホーツクの四季とともに成長する。



～アスパラのミニ知識～

名前の由来にもなっている通り、アスパラギン酸がたっぷり！疲労回復効果があり、貧血対策、高血圧予防にも、そして美肌効果もあり、女性には嬉しい野菜なのです。



オホーツクの春本番。新しい挑戦にみんな一緒に汗を流す。

文/ 伊丹 勝

木々の緑が目眩しい今日このごろ、皆様いかがお過ごしでしょうか。

こんねの畑も利用者さんと一緒に種から育てたベビーリーフや水菜、ちぢみ小松菜等の葉物野菜が収穫出来るようになり、それに加え5月が旬の野菜であるグリーンアスパラ・ホワイトアスパラの収穫が始まりました。

ホワイトアスパラを白くする為に支柱を立てたり遮光シート張る作業を利用者さんと行いました。暑いハウスだったので、汗をかきながら頑張りました。

また、こんねの畑に今年から栽培するそら豆・アイスプラント・サラダカブを皆さんに喜んで頂ける様に一生懸命作っています。



「春」と言えば、やっぱり「こんねのアスパラ」店頭が野菜で彩り始めました。

文/ 佐藤 千鶴子

長かった冬も終わり、暖かな春の日差しが嬉しい季節となりました。

『春』と言えば皆さんは一番に何を連想しますか？桜・たんぽぽ・ふきのとう・いちご・筍…。私は何といっても春が旬なアスパラ！！

バター焼きに、肉巻きに、天ぷらにと色々な料理にも使えます。もちろん、旬なアスパラには栄養もたっぷりです。(*´▽`)/

S A Iでは、アスパラやベビーリーフなど旬な野菜が少しずつ店頭で並び初め、冬の間野菜がなくちょっと寂しかったメインテーブルが色とりどりで華やかになります。是非お近くにお越しの際は立ち寄ってみてください。

また、冬期間営業日・営業時間が変更になっておりましたが、GW明けの5月10日(水)から通常営業になります。どうぞよろしくお願いいたしますm(_)_m

**活動を通して地域住民と交流を深め、
コミュニティの輪を広げる**

去る4月某日、つくしんぼの新たな活動にさき
がけしゅんこうハウス前とその周辺の清掃活動
を行いました。

始める前は皆あまり乗り気ではありませんで
したが、報酬(この時はまだお手伝いシールでした)
を提示すると一斉に「やる!」と声をあげ、手際
よく準備を終えた後スムーズに活動を始めてい
ます。(やはり対価というものはモチベーション
を引き上げるきっかけになるもんだなあ実感
する瞬間でもありました)

ハウス前とその周辺に散らばっているゴミ拾
い+小石の除去清掃を行い、その最中複数の異
なる形状のほうきを使用しながら巧みな連携ブ
ックを披露したり、埃が舞わない
よう雪をかぶせて固形状にして
から砂埃を掃きだすというオリ
ジナルの技を子ども達が自発的
に発動させ、さすがにこれには大
したもんだなあと感心したもの
です。途中近隣住民の方から「と
ても使いやすい竹ぼうき」とい
うレアアイテムまで拝借いただき、
その効力を如何なく発揮させて
いました。最終的に竹ぼうきを貸
してくださったお宅の前まできれ
いに掃除をし、「ありがとう」と


感謝の言葉をいただいております。本当に皆最
後まで丁寧な作業を心掛け且つ集中して取り組み、
見事にピカピカに仕上げていました。(ピフォー
アフターの写真を用意しなかつたのが実に悔やまれます。
今回の反省点です。みんなごめんね)



新たな活動に掲げたミッシ
ョンの柱でもある「活動を通
して地域住民と交流を深め、
コミュニティの輪を広げる」
事を出来たのが今回の収穫の
一つであります。来月号では
多分きっとおそらく新システ
ム導入後のお話が出来ると
思います。乞うご期待!

放課後等デイサービス **にんぐるの〜む** **6**月の予定表  放課後デイサービス事業所にんぐるの〜む 毎週土・日曜日はお休みです。

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
* *	* *	* *	* *	1 シャボン玉	2 散歩	3 お休み
4 お休み	5 点結びで遊ぼう	6 散歩	7 お誕生日会(100円)	8 洗濯バサミで遊ぼう	9 工作(50円)	10 お休み
11 お休み	12 レクリエーション公園に 行こう	13 実験	14 お買物ごっこ(50円)	15 たまごサンド (100円)	16 プール	17 お休み
18 お休み	19 アイロンビーズ (50円)	20 宝探しゲーム(50円)	21 おりがみ	22 公園	23 ミルクプリン (100円)	24 お休み
25 お休み	26 クレープ(100円)	27 工作(50円)	28 公園	29 駄菓子を買に行こう (300円ご用意下さい)	30 玉入れ	* *

 **放課後デイサービス事業所**
の〜む 文/ 寺澤絵奈

やさしく声をかけたり、
一緒に遊んでいる姿に感動。


4月から3人の新1年生が仲間入りしまし
た(*´▽`*)笑顔がとっても素敵な女の子な
なみさん。女の子は少ないのでみんなからと
っても可愛がられています!

色々なことにチャレンジする男の子「はる
くん」。今まで食べられなかった物もみんなと
一緒だとパクパク食べています。おもちゃの
カメラでみんなの写真を撮ってくれますが、
シャッター音の真似が本物そっくりでとつ
ても上手です!

1年生なのにとつてもお兄さんのリクくん。
パズルが得意で、じーっと座って取り組んで
います。お話が大好きで挨拶もとっても上手
です!

新1年生が入った事で、他の子ども達の成
長も今まで以上に感じる事が出来ます。困
っている時には優しく声をかけたり、一緒に
遊んでいる姿にお兄さん・お姉さんになつた
なあ!と感動しています(≧▽≦)新しい環境
にもゆっくりと慣れて、みんなで楽しく過
していけたらなあと思っています♪♪



 **放課後デイサービス事業所**
にんぐる 文/ 中島 計樹

自分から進んでお手伝いをして
くれるようになった子供達(´_ゝ`)☆

先月は、春休みもあり、午前中からこうえんハウ
スで活動していた子供達(´・ω・`)いつもなら、各
自の遊びを楽しんでいる子供達でしたが、今回の
春休みは、ハウス内の床の雑巾がけ、窓ふき、玄関
掃除、洗濯等各自お手伝いをしてから、好きな遊び
に移ってもらいました。

初日は、「えー(´▽;!)」等、嫌がっていた子供達
でしたが、自分から、「ここを掃除する!」等、自分
から進んでお手伝いをしてくれるようになった子
供達(´_ゝ`)☆おかげさまで、春休み中のこうえんハウ
スは、いつもピカピカでとても気持ちよく過
ぎていました(´_ゝ`)日々、子供達の雑巾がけの腕も上
がったと感ずます!ぜひ、お家でも、行ってもら
える機会があれば、上達した雑巾がけを見てください。

ということで、子供たちにとっては、のんびりし
たい春休みなのに、お手伝いが盛り沢山の、ちょ
っと普段とは違った、春休みでした((+_+))次回
の長期休暇は、夏休み。なにをお手伝いしてもら
おうかと、今から考えておきます(´_ゝ`)次回、頑
張ってくれた子供たちには、なにかご褒美をたく
さん考えておきます(´_ゝ`)☆





今月 新

粗みじんの
香味野菜をたっぷり使い、
LOAF特製トマトソースと
赤ワインでしっかり煮込んだ
味わい深い大人の
ミートソースです。

ボロネーゼ
¥1,000+税

Pasta



ホームヘルプサービス事業所 どんぐり

集中出来る時間が徐々に
増えてきている。 文/ 向井章人

皆さんこんにちは♪風邪も流行っているようなので皆さん注意してくださいね

5月に入り、外での活動を本格的にスタート！
…とはいかず、4月から引き続き利用者さんの調子が不安定のまま外での活動はほとんど出来ていません。作業は集中出来る時間が徐々に増えてきており、これから調子が少しづつ戻ってきてくれることを願っています♪

4月1日から置戸町の温泉「ゆうゆ」がリニューアルオープン。さらに5月1日から津別町のプール「すいむ」も今シーズンの利用を再開しましたので、活動出来る場所も少しずつですが増えてきています♪

引き続き、人が少なく、オススメの活動場所の情報をお待ちしています♪



就労支援事業所すてっぷ 「1年前と1年後」 文/ 井上涼太

「おはようございます！よろしくお願ひします！」の挨拶が清掃作業開始の合図。手を洗って、消毒をして、使い捨てのゴム手袋をはめれば準備完了。一足早く準備を終えたタカノブさんが、バケツを両手に持って水を汲みに行く。ツグトさんとリョウタさんはモップを手に取り、ホールの掃除に取り掛かった。手洗いの順番を待っていたタツヨシさんは、念入りに指先を泡立てている。タカノブさんが水汲みから戻って来た。片方のバケツに洗剤を入れて、雑巾を染み込ませる。もう片方のバケツはまだ使わないから何もしない。雑巾をギュッと絞りと、綺麗にたたみ直す。それをモップの柄に付けていた。タツヨシさんの手洗いと消毒が終わり、ゴム手袋をはめている。シワなくピタッと手に装着したいから、一生懸命に手を動かしていた。右手にホウキ、左手にモップを持って、タカノブさんがトイレ掃除に向かった。トイレの前で「失礼します！」と一言。中に誰も入っていないのは知っているけど、一応呼びかける。これからここを掃除しますと宣言しているかのようだ。

ツグトさんとリョウタさんがモップがけから帰って来た。2人とも声には出さないけれど、ツグトさんは掃除機を取りに行き、リョウタさんはゴミ箱を取りに行く。次はモップのホコリを掃除機で吸い取る作業がある。でもその前に、手で取れるホコリを集めてゴミ箱に捨てる。掃除機の中にある紙パックの容量を少しでも節約するためだ。タツヨシさんもホウキとモップを手に取り、トイレ掃除に向かった。タツヨシさんもトイレの前で「失礼します！」と言っている。これはタカノブさん



から教わったことの一つだ。ツグトさんとリョウタさんが掃除機がけを終えて、次の作業に移る。タカノブさんが一段落して戻って来た。ホウキとモップを片付け、何もしていなかったバケツを持って、またトイレ掃除に向かった。そのバケツに消毒液を入れて、作業に再び取り掛かる。

ツグトさんが洗面台の掃除をしている。今は洗面台用の洗剤をツグトさんが使っているから、リョウタさんは作業工程を変更して鏡拭きをすることにしたようだ。タツヨシさんが戻ってきた。ホウキとモップを片付け、バケツを手に水を汲みに行った。あと30分くらいでタツヨシさんはトイレ掃除を完了するだろう。ツグトさんとリョウタさんは、お互いの掃除道具を交換し、鏡拭きと洗面台掃除をしている。リョウタさんはツグトさん

から教わった通りに洗面台掃除をしている。2人ともスムーズに清掃を行うので、どちらがどこをやったんだっけ？と、時々こんがらがってしまうから注意が必要だ。

タカノブさんが「トイレ掃除終わりました。」と報告をしに来てくれた。「何か手伝うことはありますか？」と続けて言ってくれたのだけれど、他の皆さんも順調に工程が進んでいるので、休憩しながら待機してもらうことにした。ツグトさんとリョウタさんは、ゴミが残っていないか最後のチェックをしているので、タカノブさんがやり終えたトイレ掃除の確認をしに行った。いつも通り、一生懸命に作業してくれたと感じた。

タツヨシさんもバケツを持って帰って来た。「掃除終わりました。」と報告をしてくれたので、そちらのトイレも確認する。バケツが置いてあったのだろう丸い形で水滴が残っていた。それだけ拭き取り、タツヨシさんにも休憩と待機してもらう。1年後にはこの拭き取りも無くなっているだろうと強く感じた。

ツグトさんとリョウタさんも確認して集めてきたゴミを見せながら「掃除終わりました。」と報告をしてくれた。それぞれの確認を行い、戻ってくると、皆さん手洗いと消毒を再び済ませて、身支度も完了。「掃除終わりました！失礼します！」と挨拶を済ませて、車に乗り込む。車内では今日の給食や今晚のテレビ番組の話をしながら、とむてに戻る。路肩の雪山も無くなり、気温が高い。今年の夏も暑くなりそうだなと感じたのは、正午近くのことだった。

イオンでお買い物をされた方なら皆さんご存知と思いますが、毎月11日は「黄色いレシートキャンペーン」の日で、レシートがすべて黄色！
そのレシートを番号が付いているBOXの中に入れて、番号に登録されている団体にレシート金額の1%が寄付されるという仕組み・・・このご案内をいただいたのが平成18年2月、もう10年以上前のことです。

当時のとむての森は、障害者自立支援法の施行に悩まされている真っ只中で、通帳の残高と睨めっこしていたことが多かったなあ、今では懐かしい思い出となっています。
そんな貧乏法人にとって、初めていただいた1年目の総額は86,200円！金額も嬉しかったのですが、どれだけ多くの皆様が1番のBOXにレシートを入れてくださったんだろうと

思うと、泣きたくなくなるくらい嬉しかったのです。

あれからBOXの窓口の数は増えていきましたが、とむての森はずっと1番BOXに鎮座させていただいています(笑)

今年も多くの皆様のご協力のおかげで、利用者さんたちのための備品を購入させていただきました。厚くお礼申し上げます。

イオン北見店の皆様、レシートを1番BOXに入れてくださるお客様、とむての森を応援してくださる皆様、これからもどうぞよろしく願いたします。

「毎月11日はイオンでお買い物して、黄色いレシートを1番BOXへ！！！」

どれだけ多くの皆様がレシートを入れたのかと思うと、泣きたくなくなるくらい嬉しかった。 文/ 弓山祐子



今月もみなさまから寄贈をいただきました。ご協力に感謝しています。ありがとうございます。

(とむての森 スタッフ一同)

- 宮林 幸子 様
・干しシタケ・ティッシュペーパー
- 馬淵 由美 様
・アルミ缶
- 北見ローソンひかりの店 様
・牛乳パック
- 斎藤 勝義 様
・ほうれん草
- 西川 美夕紀 様
・アルミ缶
- 瀬口 春華 様
・アルミ缶・トイレットペーパー
・ティッシュペーパー
- 蛸子 陽太 様
・トイレットペーパー
- 本田 千鶴子 様
・アルミ缶
- 安藤 初男 様
・たまご
- 柴田 真由美 様
・洗濯洗剤
- 大橋 馨 様
・アルミ缶・リングブル・ボトルキャップ
- 石原 麻由美 様
・トイレットペーパー
- 村田 好英 様
・アルミ缶
- 小林 優子 様
・加湿器
- 成田 順子 様
・タオル
- ダスキン北見 白井 様
・牛乳パック

INFORMATION 寄贈のお願いです!!

*移動支援事業所「とろっこ」よりお願いしていました「ワンダーコア」ですが、早速2台もの寄贈を頂き、スタッフは歓喜!! 数か所に配置したかったので、うれしい限りです。ありがとうございます。図々しいお願いですが、コンパクトタイプの「ワンダーコアスマート」もあったら嬉しいな〜とスタッフは思っております。「買ってはみたけれど、座いすになっちゃってるわ〜」というご家庭はありませんか? ご協力をよろしくお願いいたします。

大切に使用させていただきます。



ちょっと困ってますので。。

*春の模様替えや引越しなどで不用になった4.5畳以上のじゅうたんがあるご家庭はありませんでしょうか? ご協力をよろしくお願い致します。

とむての森ではいつもトイレットペーパー・ティッシュペーパー・タオル等のご寄付を頂いており、大変助かっています。引き続きどうぞよろしく願いたします。

夢の貯金箱

わたしたちは日本財団「夢の貯金箱」を応援しています。



●日本財団様が運営している「夢の貯金箱」は、みなさんの「夢」を集めて大きくし、本当に支援を必要としている人たちに届ける貯金箱です。(日本財団パンフレットより)
とむての森では本部隣のペーカリーカフェ ローフ前に「夢の自動販売機」を設置しています。この自動販売機で飲み物を購入すると、1本につき10円が、夢の貯金箱に寄付される仕組みとなっています。みなさん、近くにお越しの際は、ぜひご協力をお願いいたします!

あなたの買い物でだけかを幸せにするしくみ。

イオン 幸せの黄色いレシート since 2001

あなたが買った商品を手紙でレシートを一枚発行いただき、お買上げレシート金額の1%が商品の品名とその回数に集積。

買物 → レシート → 選ぶ → 1% → 幸せ!!

●とむての森はイオン北海道(株)イオン北見店様の「イオン・デー」に実施されている「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に登録をさせていただいています。毎月11日は「イオン・デー」です。イオンで買い物をし、黄色いレシートを「とむての森」のBOXに入れてくださいね!! よろしく願いたします。

TOMUTE NO MORI NETWORK



ふれあい@とむてホーム

・本部・ホームヘルプサービス事業所「どんぐり」・移動支援事業所「とろっこ」・就労支援事業所「すてっぷ」
・ふれあいホーム「のびのび」1号館・地域たすけあい&とむてサロン「きっじゅ」

北海道北見市公園町166番25 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716
携帯 080-1892-4918 MAIL tomute-m.agate@docomo.ne.jp

ふれあい@あったかホーム

・ペーカリーカフェ ローフ・生活支援事業所「ほっぷ」・studioブレーメン・ふれあいホーム「のびのび」2号館

北海道北見市公園町166番29 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

ふれあい@しゅんこうハウス

・日中一時支援事業所「つくしんぼ」・ふれあいホーム「のびのび」3号館

北海道北見市春光町1丁目24-9 TEL.0157-32-8715 FAX.0157-32-8716

こうえんハウス

・放課後等デイサービス事業所「にんぐる」・相談支援事業所「りーふ」
北海道北見市公園町137番48 TEL/FAX.0157-22-8771

ほくおうハウス

・放課後等デイサービス事業所「の一む」

北海道北見市北中央町90番地8 TEL/FAX.0157-24-8003

みわハウス

・生活支援事業所「ほっぷ」・手作り雑果専門店SAI

北海道北見市西三輪3丁目746-27 TEL.0157-33-5025

